

『歯科衛生士英語ワークブック』の使い方

まあこのワンポイントアドバイス

歯科衛生士として日頃心掛けるべきことを英語でアドバイスしています。レッスン前に軽く読んで頭を「英語モード」に切り替えましょう。

1 Vocabulary

各レッスンのテーマに関連する用語を英語か日本語で掲載しているので、訳して空欄に書き込みましょう。

2 Brian' s Pronunciation Practice (動画 QR コード付き)

Vocabulary で取り上げられた単語をブライアン先生が発音します。動画を見ながら彼に続いて発音の練習をしましょう。

3 Brian' s Pronunciation Tips (動画 QR コード付き)

日本人が特に苦手としている発音に焦点を当て、ブライアン先生が動画で解説してくれています。動画を見て、先生に続いてリピートしましょう。

4 Core Phrases

歯科衛生士が使うであろう、各レッスンのテーマに関連するフレーズです。日本語に訳しましょう。

5 Quick Response (動画 QR コード付き)

4のCore Phrasesを使ったQuick Responseの練習です。動画を見ながら日本語に対する英訳を瞬時に言いましょ。実際に外国人患者の対応をするときは、相手が発した英語を聞いて即座に反応しなければならないため、こうしたクイックレスポンスを取り入れています。

6 Handy Phrases (動画付き)

現場で言えたら便利なひとことです。動画を見て練習しましょう。

7 Workout with Julia (動画 QR コード付き)

ジュリア先生と、器具やオーラルケア用品の名称、現場で使う用語やフレーズなどの練習をしましょう。

8 Dialogs (動画 QR コード付き)

現場での外国人患者の対応で起こりそうな場面を、対話形式の動画にしています。まず動画を見て概要を理解してください。その後、再び動画を見ながらテキスト内の空欄を埋めましょう。空欄になっているのは外国人患者の返答として予測されるフレーズなので、しっかりと聞き取れるようにしましょう。

9 Patient Interview Drill (動画 QR コード付き)

巻末のPatient Interview Drillを切り取って使います。表面は歯科衛生士による患者への問診の動画を見て、問診表に患者による回答を日本語あるいは英語で書きとる課題です。歯科衛生士役と患者役に分かれて医療面接の練習もできます。

コラム (Dental Hygienists Around the World)

世界で活躍する歯科衛生士へのインタビュー記事です。海外での歯科衛生士事情がわかり、専門用語やイディオムを中心に、日本語訳のヒントも掲載されています。